

選挙公報(倉吉市選挙区)

人と地域と産業を守る



5期目の活動で実現しました

- コロナ禍での売り上げ減少事業者へ応援金交付(令和2年度)
- 倉吉市西側(小幡以西)光ファイバー網の整備(令和4年度)
- 厚生医療水害対策、止水板と予備発電設備設置(令和3年度)
- 米価下落対策、次期作支取金の交付(令和4年度)
- 上北東地区古川沢の浸水対策排水ポンプ場設置(令和3年度)
- 老朽危険空き家の除却支援事業の拡充(令和3年度)
- 農用による宅地内土砂撤去支援事業の創設(令和3年度)
- 農業用水を取水する円谷堰改修事業に着手(令和4-5年度)
- 県道(興～橋手間)、邊字路の安全のため歩道整備(令和3年度)
- 玉川、会下谷川など農産物河川の土砂除去と樹木伐採
- 小規模農業災害の農家負担割合を10%に軽減(令和2年度)
- 合併処理浄化槽の設置補助金の拡充(令和4年度)
- LED防犯街灯の更新補助制度の創設(令和4年度)
- 自治会館の老朽危険施設の撤去補助制度の創設(令和4年度)

実現します

- 物価高対策。生活者・事業者を支援
- 農業・農村・中山間地域を守る
- 少子化対策。結婚・子育て支援の充実
- 中小企業支援。人手不足対策の実行
- 美術館を活かしたまち・ひとづくり
- 教員の多忙解消など、学校の課題解決
- 災害・感染症への確かな備えを強化

基本姿勢

現場主義で、課題解決に取り組みます。
県議会をリードし、県政を動かします。

興治 英夫

あなたの声で県政を動かします。
未来をひらく 情熱・実現力
立憲民主党

コロナ禍の中、物価高や公共料金の引上げ、さらには増税の動きなど、生活や事業環境の厳しさが増えています。政治が取り組むべき課題は、皆さまの生活や労働現場、地域にあります。私はその声を大切に受け止め、日々、全力で課題解決に取り組みます。

コロナ禍での事業者支援や倉吉市西側(小幡以西)の光ファイバー網の整備、豪雨災害時の宅地内土砂撤去支援事業の創設など、多くのことを実現することができました。ありがとうございました。

私たちの住む中部、倉吉には、美しい自然、優れた農産物、豊かな地域資源として、地域で暮らす人々の絆があります。その一方で、人口減少や地域の活力の衰えにも直面しています。この地域を誇りと現状を胸に、人と地域と産業を守るため、情熱を傾けて県政に取り組みます。皆さまと力を合わせて、**元気な中部、倉吉**をつくりたいです。

気軽に声をかけてください。皆さまの「身近ななかかりつけ議員」として、しっかりと働きまします。どうかよろしくお願いします。



おきはる 英夫



よしだ たかし

現場主義で生の声、届けます

① 米をはじめ、畜産・林業など消費利用拡大をはじめ、一次産業と環境の循環をはかります

② 県立厚生病院の診療科拡充、保健所体制など地域医療保健を充実させます

③ ジェンダー平等、「性別で分けられない教育現場に」を求めます

④ 包括的差別禁止法・人権侵害救済制度の成立をめざします

⑤ 河川氾濫防止のため、引き続き二級河川の計画的整備をすすめます

⑥ 県議会政務調査費4割カットなど、議会費の見直しなど提言していきます

揺れる国際情勢にあつて、それだけに改めて日本国憲法を生かす道を歩んでいきます。

これらすべて、今を生きる者だけでなく、活躍し欲しい次世代に繋ぎたい一心です。

共生社会を支える力に

東山が遊び場でもあった高城小、久米中で学ぶ「探タム」の水源地は河床見からサイホンで久米ヶ原を潤していることを教わり、源流の貴重さを知る。

後、これを政策の原点とする。倉吉工業高校まで自分に自信が持てなかった性格が、同和教育により「誰とも違う今の自分でいいんだ」と解放された。

高卒から消防士に、約20年に渡って火災や水害から住民と地域を守るプロに徹する。昭和59年、台風11号による小鴨川流域の砂防流出対策をはじめ、国管理の天神川本川流域で堤防を守るなど、高水敷の整備を促進。

倉吉市議会議員に就いて、「自らの主張を先行しては合意は難しい」と聴く立場の大切さを会得した。父が結核患者であったことからハンセン病回復者との交流を深め、国の隔離政策から偏見、差別が助長された過ちを痛感。多様性が反映され、人が導き合う社会づくりを追求。あきらめないで声を届けなければ必ず実現すると、情熱を燃やし、今日に至る。

70になり、皆さんに感謝の心をこまき「温故知新」一身の力を振り絞る決意です。ご支援をよろしくお願いたします。

由田たかし

プロフィール

愛児園、倉吉幼稚園、成徳小学校、鳥取大学附属中学校、倉吉東高等学校(硬式野球部所属)、早稲田大学商学部卒業、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社リクルート、農産管理大学院 経営管理研究科(MBA)、倉吉市議会議員

趣味

野球観戦、旅行(大学時代はバックパッカーで20か国東南アジアを中心に周りました)

地域活動

消防員(成徳分団)
成徳地区大正町厚生部長
倉吉青年会議所会員(JC)

●生年月日 平成3年4月15日(31歳)
●家族構成 父、母、妻、息子(1歳)

ブログ発信中

QRコード

観光対策

令和7年完成予定の県立美術館を、県内外の方々より親しまれ、多くの方が訪れる施設にします。また、まだ光のあたっていない観光資源を県内外に発信し、観光産業を活性化させます。

市町村との連携

鳥取県各市町村の議員や行政職員の方々積極的に意思疎通をはかり、鳥取県と各市町村の橋渡し役となります。

経済の振興

長期的な視野で、戦略的に、企業誘致等を通じた働き口の創出を目指します。また、地元企業を県内外に発信することで、地元企業を大切に、育てます。

教育環境の整備

中部の県立高等学校の魅力高め、鳥取県西部の高校にも引けを取らない教育環境の整備を目指すことで、県全体の高校の水準を向上させます。

福祉

少子高齢化社会に突入している中、高齢者や子育て世代が安心して生活が出来る、きめ細やかな行政サービス推進のために、デジタル技術を積極的に行政へ取り入れます。

災害に強い地域づくり

異常気象において大雨・大雪が頻発する中、災害が起きる前の、「防災減災」に取り組みます。また、防火意識を高め火災の予防を徹底します。

農林水産業の振興

鳥取県の基幹産業である農林水産業を、世界に誇れる産業にするべく、商品のブランド化を進め国内外に発信し、後継者不足問題にも真摯に取り組みます。

倉吉が変われば鳥取が変わる

倉吉の未来のために

自らの足で行動し、常に素直に謙虚な姿勢で、倉吉・中部地域の活性化に取り組みます。

31歳



とば 鳥羽喜一
きい ち

自民党 鳥取県議会議員 3期目に挑戦

か 変えよう考えよう
わ 私たちの地域のために
へ ベースは鳥取プラス思考
ひ 広い視野と発想で
る 論より行動
し しっかり動きます!

県政の重要課題

県民所得の向上と人材の育成

私の役割

- ・議会の一員として知事の提案や執行をチェック
- ・皆様から寄せられる身近な課題や要望を解決
- ・身近な課題から県全体の課題を抽出し仕組みを変える
- ・未来に向けてやるべきことを問題提起

かわべ洋をもっと詳しく

QRコード

一人ひとりの暮らしを守り いつまでも安心して暮らせる地域をつくりま

- ・すべての産業において売上高と生産性の向上を目指す
- ・一人ひとりの能力を伸ばす教育を確立させる
- ・違いを認め合い互いに支え合う自治と共生のまちをつくる



ひろし かわべ洋

【プロフィール】1965年6月 倉吉市生まれ(57才) 1989年同志社大学法学部政治学科卒業 ▶2002年倉吉市議会議員に当選(～2009年) ▶2015年鳥取県議会議員に当選 ▶2016年自由民主党入党 ▶2019年鳥取県議会議員に当選 会派/鳥取県議会自由民主党 委員会等/地域づくり県土警察常任委員会委員長、議会改革推進委員会委員、鳥取・岡山県境議員連盟委員ほか

鳥取県議会議員選挙 投票日 4月9日(日)

投票時間は、午前7時から午後8時までの投票所と、
これと異なる投票時間の投票所がありますので、
お住まいの市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。

期日前投票 4月1日(土)~4月8日(土)

期日前投票ができる日時は、期日前投票所によって異なりますので、
お住まいの市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。

●投票所の混雑を避けるため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。

鳥取県議会議員の選挙区と定数

